

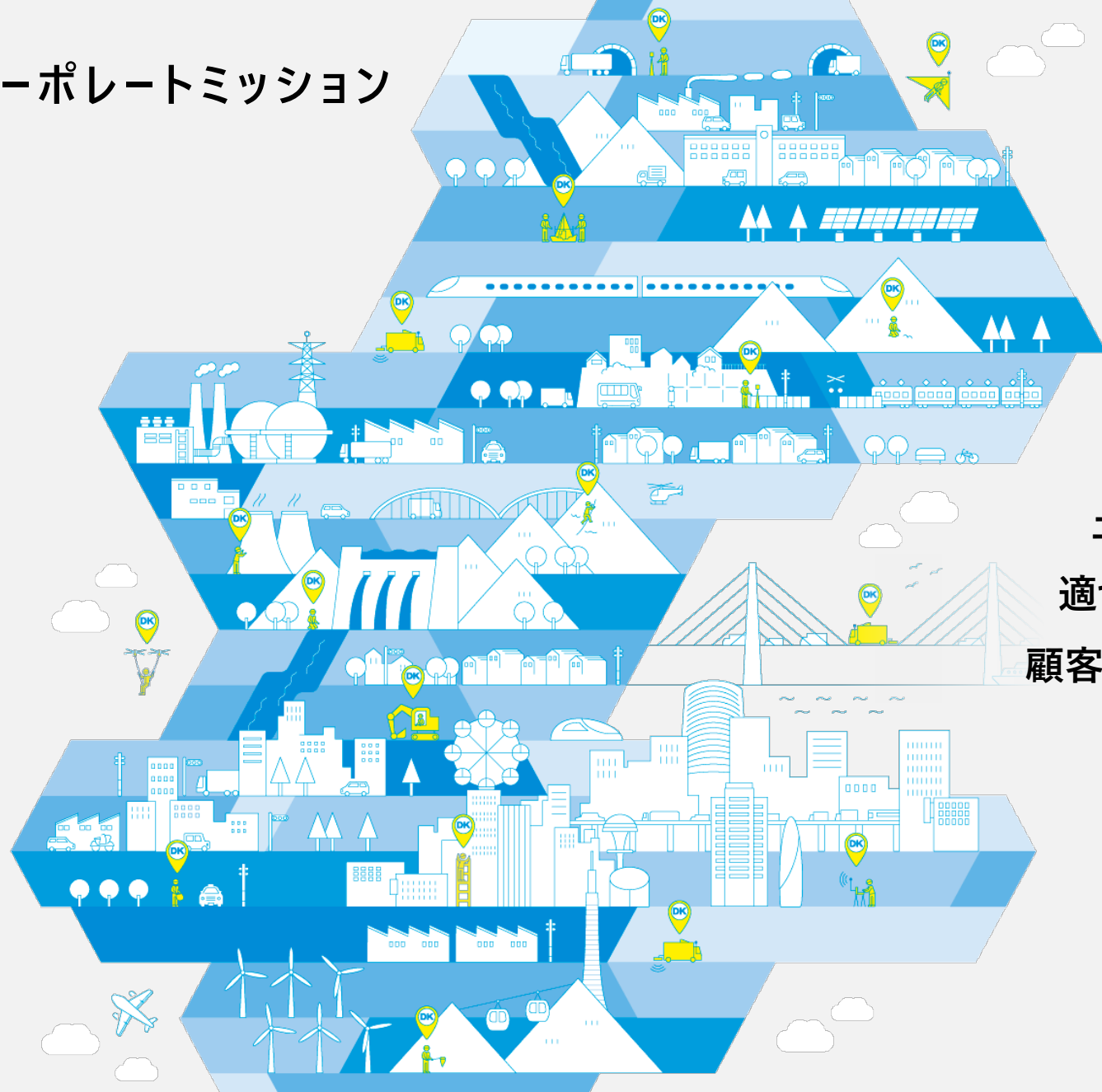
2023年12月期 第2四半期 第39期 決算説明資料

2023年9月5日

 株式会社 土木管理総合試験所 (証券コード：6171)



コーポレートミッション



人々の生活環境が豊かになることを使命とし、
土・水・大気・構造物調査・測量設計等に関わる
適切な情報をスピード・対応力・提案力を持って、
顧客に対し積極的にコンサルテーションを行います。

第2四半期 業績説明



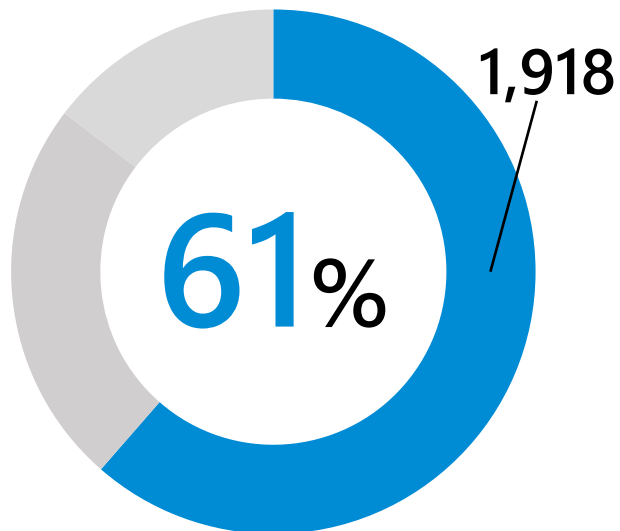
売上高3,689百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益263百万円（前年同期比8.7%増）
売上高、営業利益が第2四半期連結累計期間としては過去最高。

（単位：百万円）

	第38期 第2四半期連結累計	第39期 第2四半期連結累計	前年同期比（%）
売上高	3,292	3,689	112.1
試験総合サービス事業	2,709	3,124	115.3
地盤補強サービス事業	277	243	87.7
ソフトウェア開発・販売	291	313	107.6
営業利益	242	263	108.7
経常利益	251	271	108.0
当期純利益	143	152	106.3

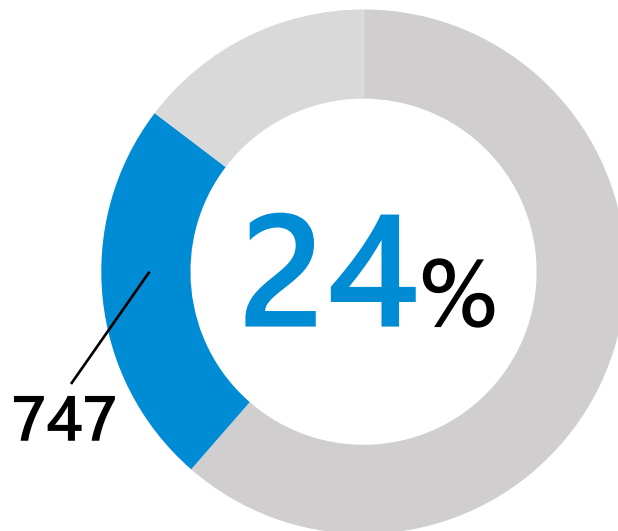
事業展開

土質・地質調査試験



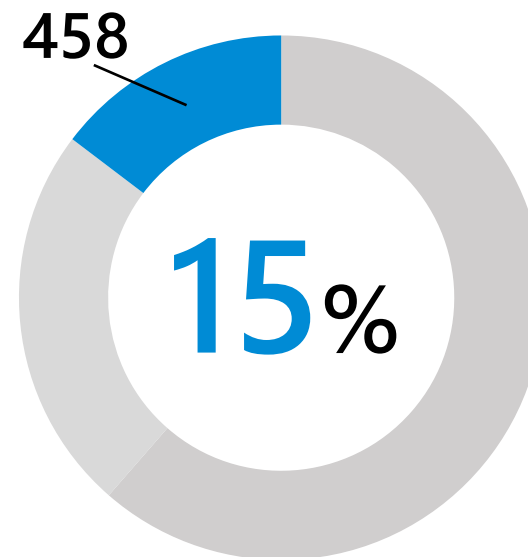
土木建設工事の土質、地質調査から災害復旧時のインフラ整備及び防災・減災関連事業まで幅広く対応しております。

非破壊調査試験



インフラに関わる様々なコンクリート構造物などの状態や劣化を調査するインフラメンテナンス調査を実施しております。

環境調査試験



環境アセスから土壌汚染調査、アスベスト分析まで近年の法改正により対応分野が増加、幅広い環境分野の案件に対応しております。

（単位：百万円）

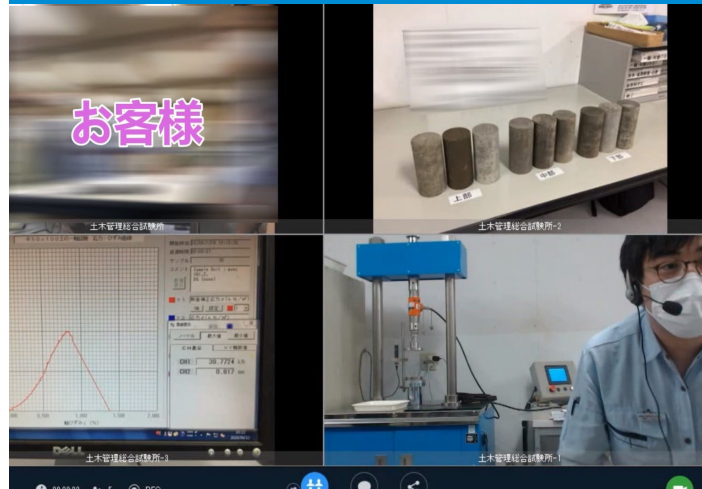
ラボの取り組み（R&Dの強化）

- 土質・非破壊・環境に対応する日本最大級の試験センターを全国3か所（仙台・長野・山口）に設置
- 北海道苫小牧にジオロボティクス研究所を開設

ラボの自動化 自動試料分取機



ICT化 WEB立会“ラボコネ”



技術研究・開発施設



自動化・ICT + 技術研究開発を更に強化

北海道ジオロボティクス研究所

市場規模（令和4年度）



当社が関連する事業で国家予算が編成されており、市場も拡大。

土質・地質調査試験

防災・減災、国土強靱化

2兆1,471億円

全国的に大規模インフラが整い、土質・地質試験は減少すると予想されていたが、激甚化する災害による復旧・復興、防災・減災事業が増加傾向。

非破壊調査試験

インフラ老朽化対策

7,204億円

インフラの老朽化が社会問題となっており対応案件も増加。ライフサイクルコスト削減に向けた取組にて市場が拡大。

環境調査試験

脱炭素・再生可能エネルギー

1兆6,230億円

脱炭素、再エネ実現のための取組がスタート。国、自治体、企業が協力して整備事業を展開。日本全体を改変していく計画により、様々な案件で対応増加。

成長事業

引き続き、民間市場の顧客獲得に注力。

幅広く対応できるノウハウを活かし、ライフサイクルコスト最適化の観点でコンサルティングを実現。



土木管理総合試験所



課題

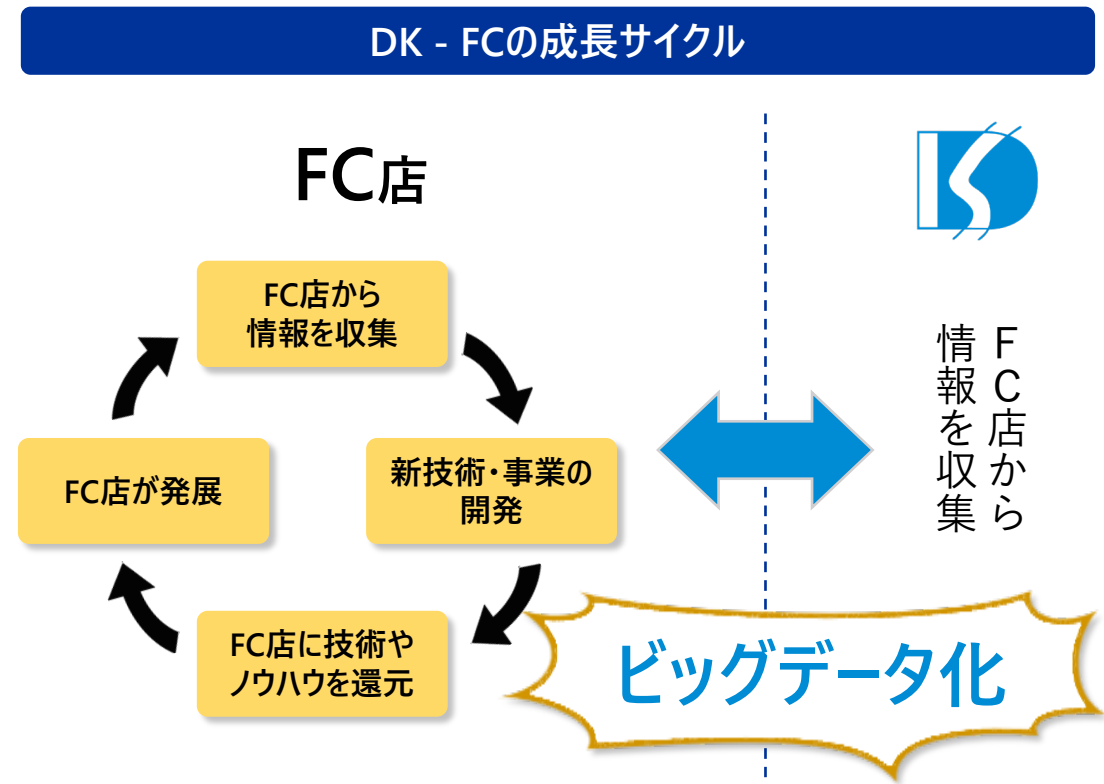
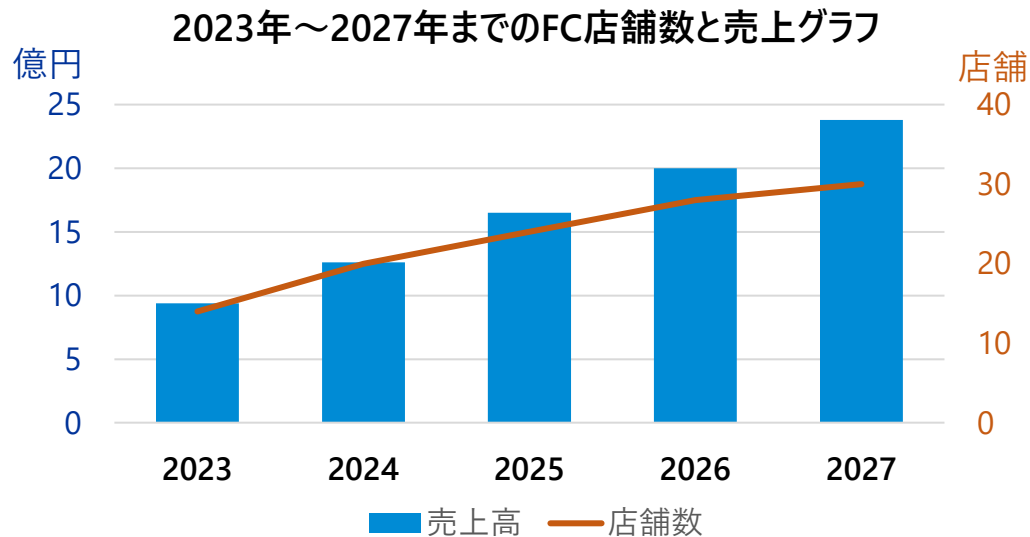
顧客

ソリューション

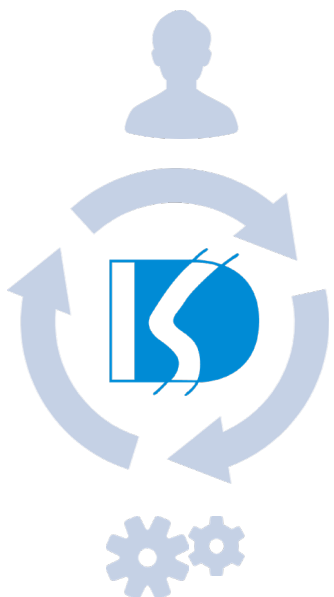
2022年14店舗 → 2027年30店舗、引き続きFC展開を加速。

全国を網羅し、マーケットシェアの拡大とフィールド＆サポートの充実を図る。

- 全国へDK（土木管理総合試験所）ブランドの確立
- 全国各地で現場に密着したスピード＆対応力
- 全国のマーケット情報から新商品開発へ



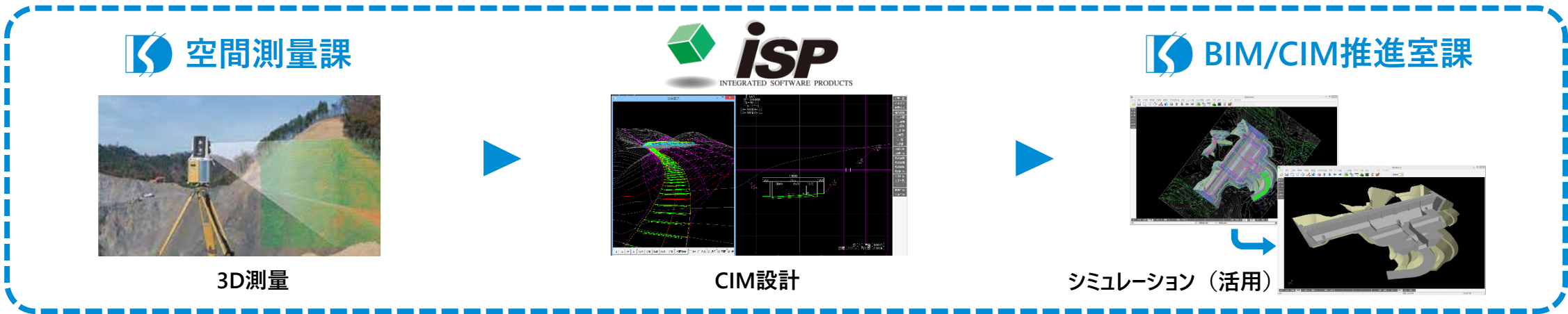
広範なサービスの技術向上、必要なノウハウの共有とグループ間での技術連携を推進。



	企業名	業務	グループシナジー
	株式会社アイ・エス・ピー	点群～3Dソフトウェア 開発・販売	既存業務の3D化、BIM/CIM化と今後のメタバース市場の成長に伴い、3D化の需要はさらに高まる
株式会社アースプラン 株式会社クリエイト	株式会社アース・プラン 株式会社クリエイト	不発弾探査	地質調査の特殊技術 沿岸部の再開発に伴い需要増
 株式会社 沖縄設計センター OKINAWA DESIGN CENTER	株式会社沖縄設計センター	設計	設計部門の強化
 ADVANCED KNOWLEDGE LABORATORY	株式会社アドバンスドナレッジ研究所	気流解析ソフトウェア	環境コンサルティング 脱炭素、省エネで需要拡大
 株式会社 環境と開発 Environment & Development	株式会社環境と開発	設計コンサル	廃棄物処理施設と再生可能エネルギー発電所の施設計画と測量・調査・土木設計・許認可等を一貫サポート



当社グループでは対応を強化し、令和5年の原則適用に先駆けて需要を取り込む。



令和5年度の小規模を除く全ての公共工事におけるBIM/CIM原則適用 原則適用拡大の進め方（案）（一般土木、鋼橋上部）



	2020年	2021年	2022年	2023年
大規模構造物	(全ての詳細設計・工事で活用)	全ての詳細設計で原則適用（※）	全ての詳細設計・工事で原則適用	全ての詳細設計・工事で原則適用
		(R2「全ての詳細設計」に係る工事で活用)		
上記以外 (小規模を除く)	—	一部の詳細設計で適用（※）	全ての詳細設計で原則適用（※）	全ての詳細設計・工事で原則適用
		—	R3「一部の詳細設計」に係る工事で適用	

(※) 「3次元モデル成果物作成要領（案）」に基づく詳細設計を「適用」としている

インフラ老朽化・維持管理問題の解決

橋梁床板、高速道路、国道等にて高速調査＋高速解析で実績。空港、鉄道での実証実験も開始。

2014年の法改正によって、2m以上の橋梁、トンネルは5年に1度の定期点検義務化

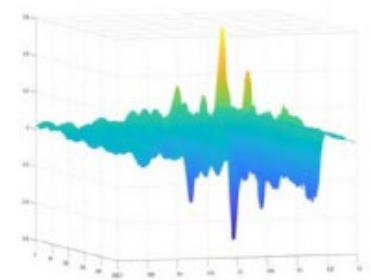
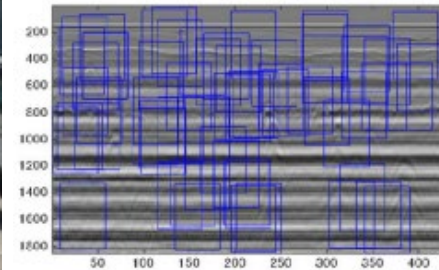


インフラの老朽化で、維持管理が社会問題化

人海戦術では限界

高速調査+高速解析で問題解決

AI・独自アルゴリズム開発を進め、さらなる効率化を目指す！



国内だけでなく、海外需要の取り込みを狙う。

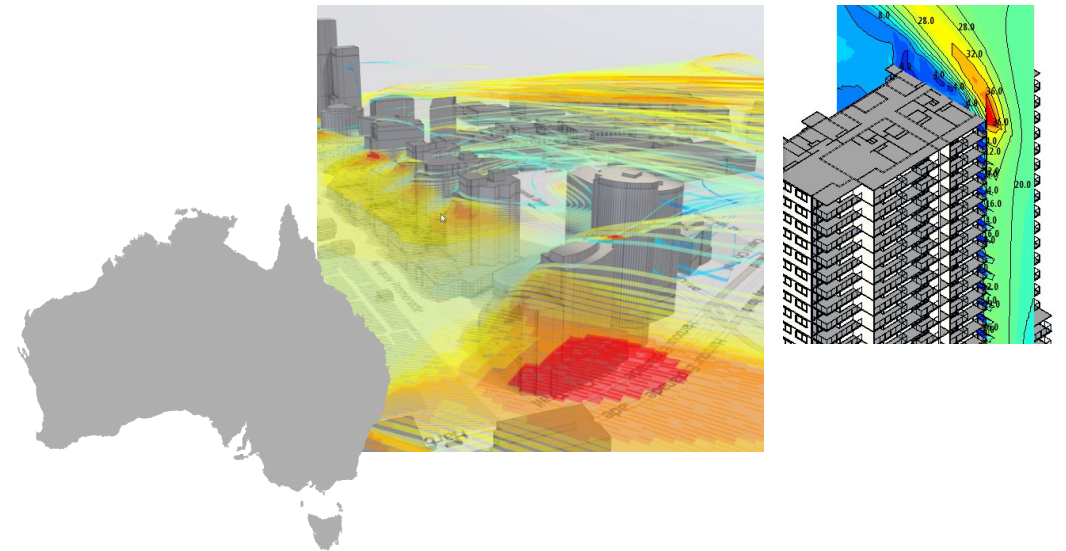
C.E.Lab

C.E.Lab（土木ラボ）を開設し、現在CADオペレーションを中心に活動しております。また、BIM/CIMへ向けた準備も加速しております。そうした技術を活用し日本はもとより、全世界からの受注を受け付け、DX需要に対応してまいります。



AKL FlowDesigner

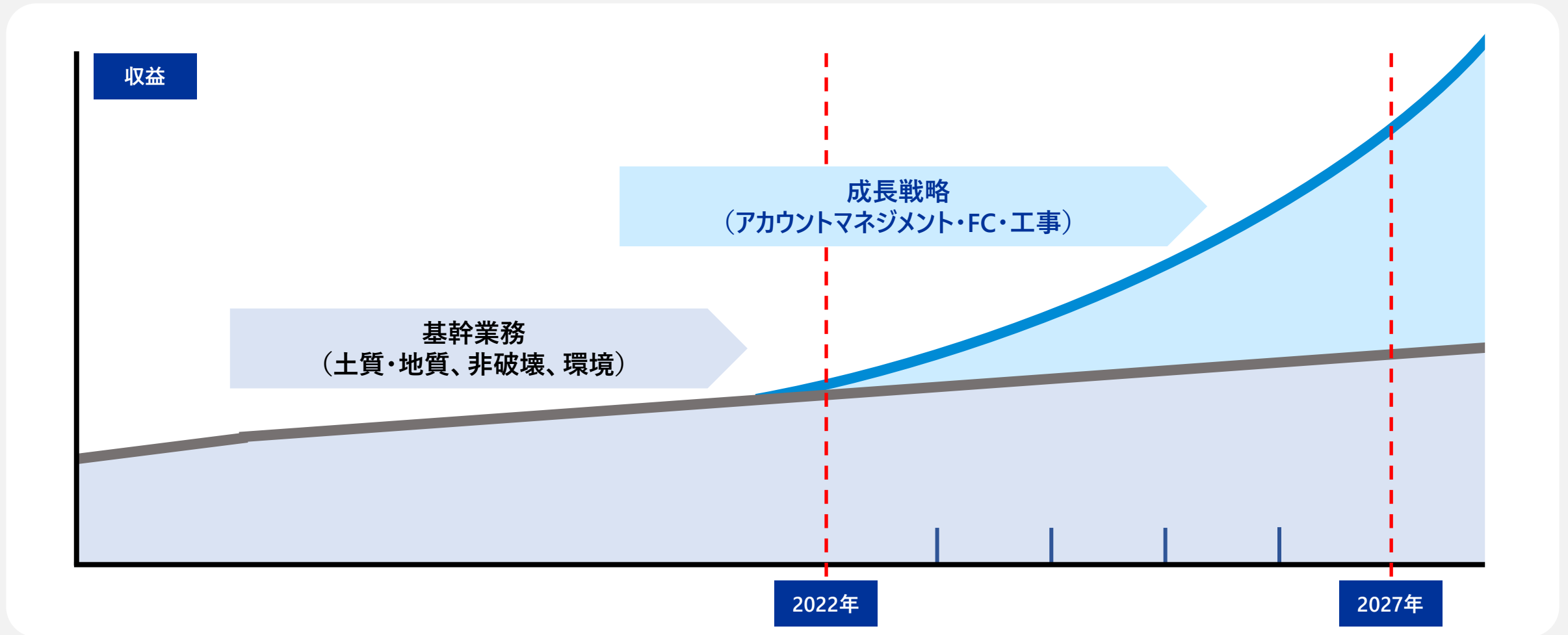
グループ会社である、株式会社アドバンスドナレッジ研究所が開発した流体解析ソフト「FlowDesigner」は、オーストラリアでも展開しております。



成長イメージ

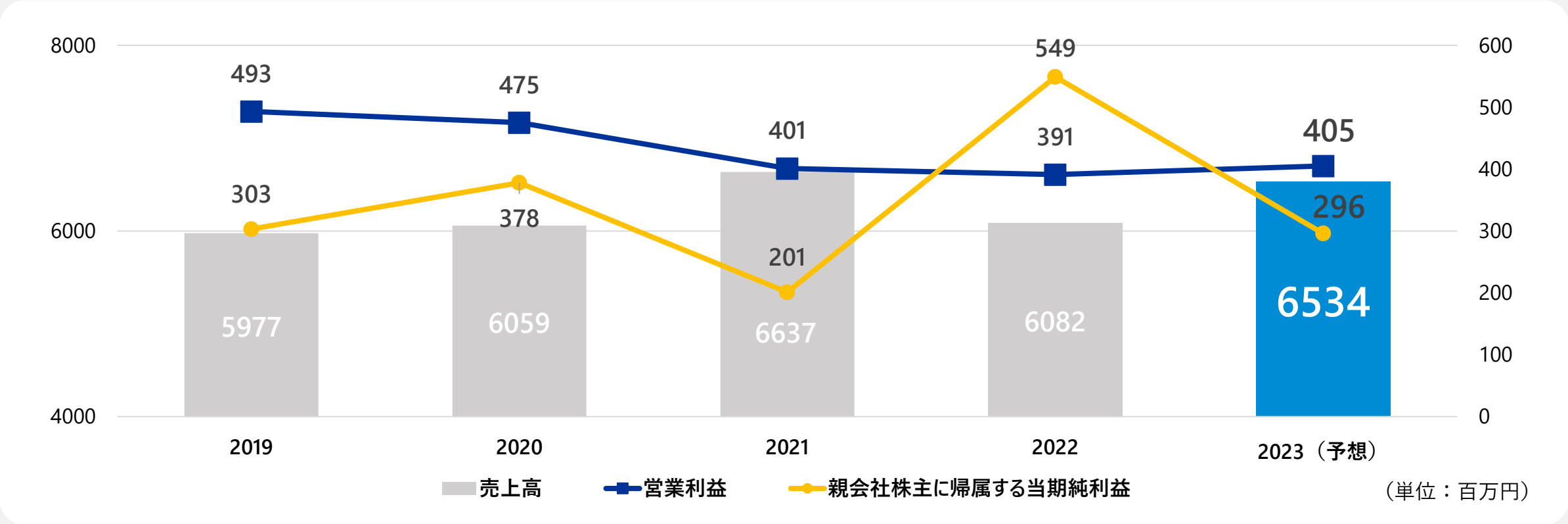


基幹業務 + 成長戦略でさらなる飛躍を目指す。



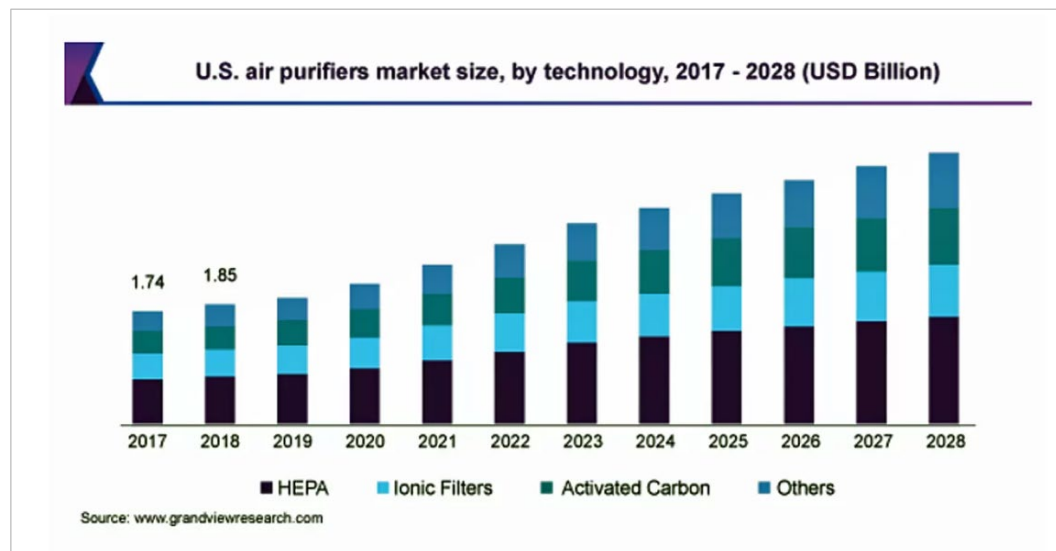
参考資料

売上、損益、配当金の推移（単体）



	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期（予想）
配当金	8.5円	9.0円	9.5円	11.0円	12.0円
配当性向	40.4%	34.5%	67.6%	39.5%	40.4%

空気清浄機の市場規模、2021年から2028年にGAGR10.0%で拡大見込み。

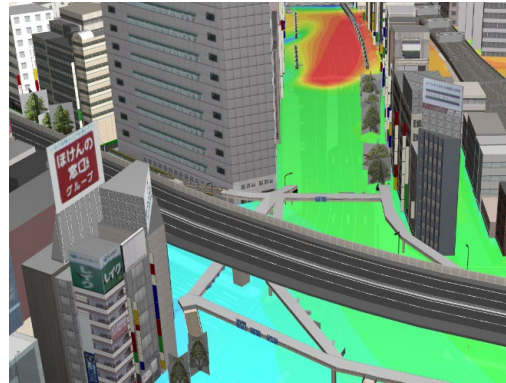


出典元：
空気清浄機の市場動向・市場シェア・市場規模の予測
(2021-2028年)：(Grand View Research, Inc.)

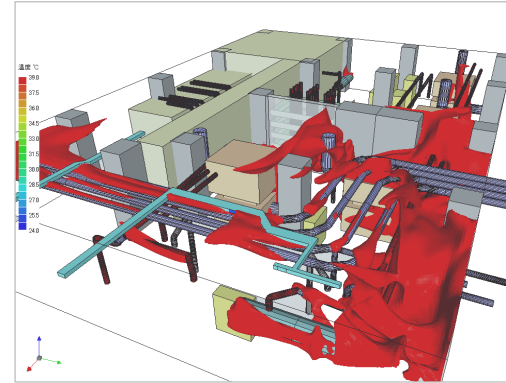
引用：(2021/4/19)
<https://www.value-press.com/pressrelease/269195>

空気清浄機の市場規模は、2020年に106億7,000万ドルとなり、2021年から2028にかけて年平均成長率（CAGR）10.0%で拡大すると予想されています。この市場は、空気感染症の増加や都市部での汚染レベルの上昇によって牽引され、健康意識の高まりや生活水準の向上、可処分所得の増加が市場の成長を促進します。発展途上地域では大気汚染防止装置の導入が進み、これが予測期間中の市場を牽引することも予想されます。また、都市部の若者の間では、健康的なライフスタイルに対する意識が高まっており、市場の成長に寄与すると考えられます。

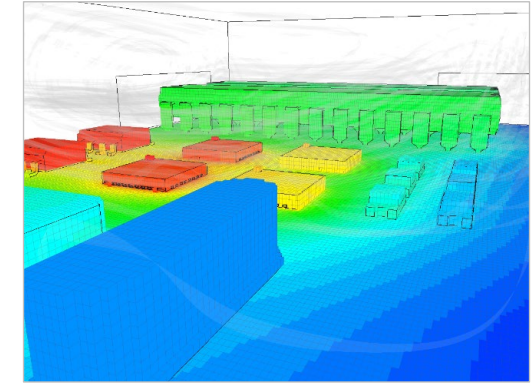
流体解析ソフト「FlowDesigner」による解析例



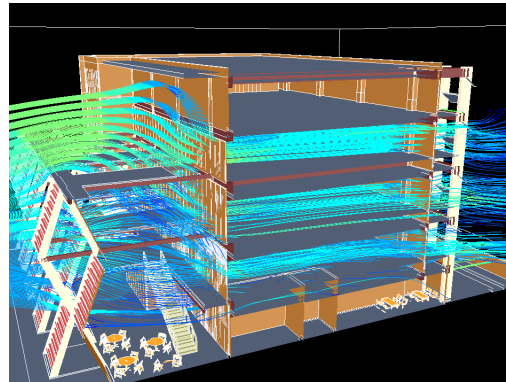
屋外風環境評価



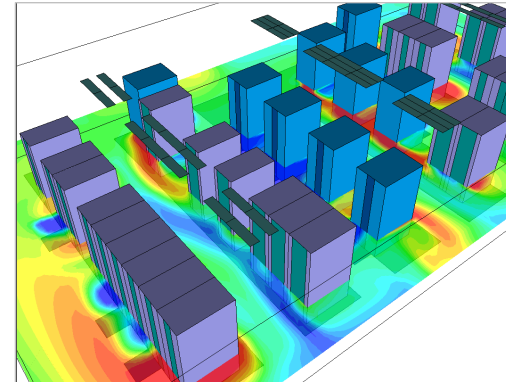
工場温熱環境改善



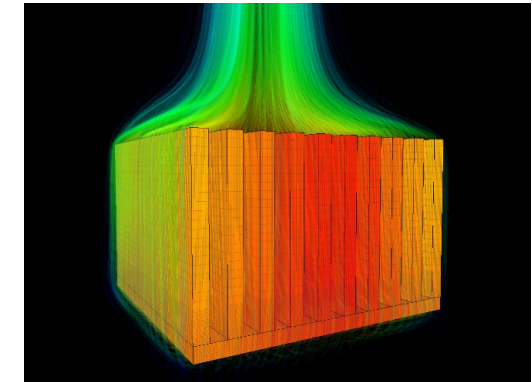
電子機器熱設計



自然通風解析



データセンター熱対策

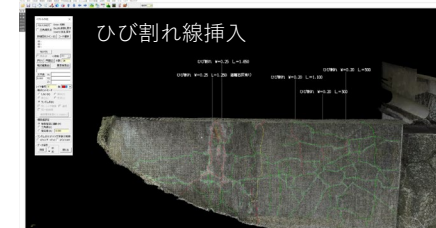
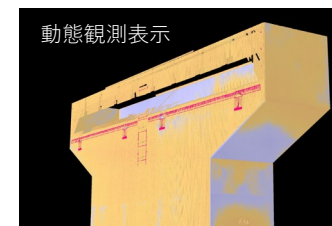
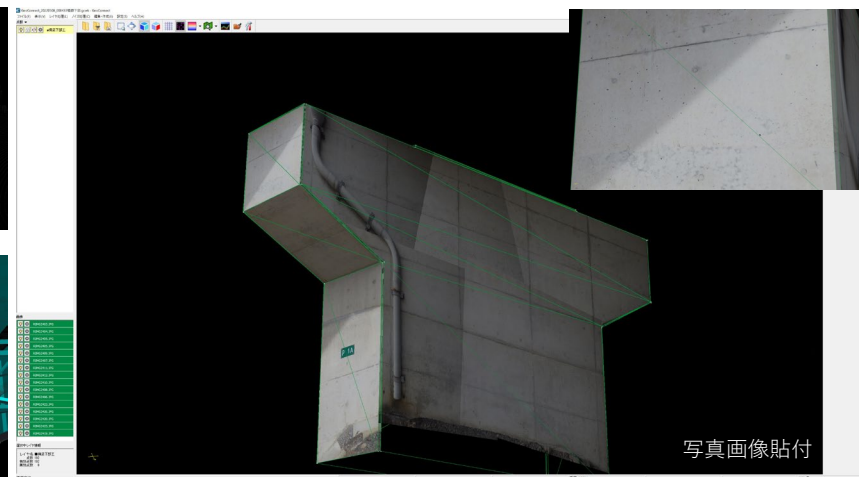
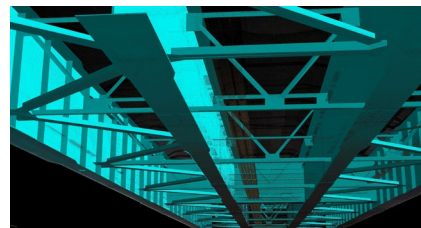
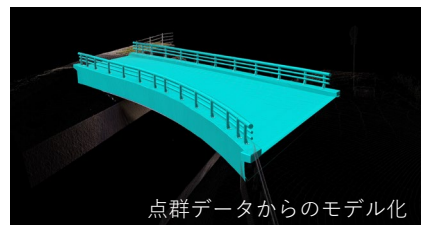


部品放熱性能評価

現有ソフトの新規ラインナップとして、インフラ維持管理業務効率化ソフトを開発。今秋発売。

点群3Dモデルによる差分量可視化ソフト『MEMOREAD（メモリード）』

長年に渡り土木測量系3Dプログラムを開発しているISPの強みである、「点群からの3Dモデル化技術」を活用し、その差分量からグラデーションヒートマップとして可視化することにより、経年変化の把握を可能とすることに成功。コンクリートの浮きや剥落、ジャンカや補修跡、塗装面の浮きや剥がれなどの早期発見、現地調査工程の短縮、点検者の負担軽減につながることを期待されます。



【ご注意事項】

本資料に記載されております当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

【お問い合わせ先】

株式会社土木管理総合試験所 企画部 TEL：03-5846-8385



株式
会社

土木管理総合試験所